

**羽田空港国際化のための羽田・成田離着陸割当ての柔軟化**

**(羽田への国際線割当てと成田への国内線割当ての交換促進)**

羽田に国際線が一層入ることは、外国から羽田経由で地方都市へ移動する時間を大幅に節約するという効果をもたらす。成田に到着した後で羽田に移動する必要がなくなるからである。したがって、地方活性化のためには羽田の国際化は望ましい。

このための具体的方策としては、次の2つの方策が考えられる。

- ① 特定の航空会社が有している羽田の国内線と成田の国際線のそれぞれにおける現行の離着陸割当て数を保ちながら、2空港間の国際線と国内線の割当ての自由な交換を許容すべきである。
- ② 地方空港から羽田に航空路線を有しているが成田に国際線を有していない航空会社に対しては、その羽田航空路線の自発的な成田への移管について、一括して大幅な補償を行うべきである。その補償は、羽田を諦めた離着陸権を内外の航空会社に対して競売することによって得られた利益によって賄うことができる。